

春の火災予防運動

実施期間 令和7年 3月1日(土)~7日(金)

令和6年の北九州市内における火災の主な原因 (速報値)

原因1位

たばこ

32件



対策

たばこの火は
確実に消すぞう~
たばこの投げ捨てや
寝たばこは
絶対にしないぞう~



原因2位

放火

24件

※疑いも含む



対策

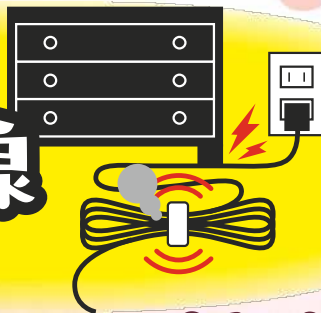
家のまわりに段ボール
などの燃えやすいものを
置かないぞう~
センサーライトなどで家の
まわりを明るくするぞう~



原因3位

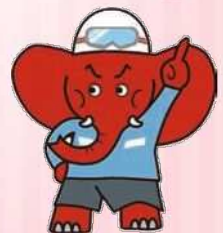
電気配線

20件



対策

古い配線や
傷ついた配線は
買い替えるぞう~
配線を束ねたまま
使わないぞう~



令和6年の北九州市内の火災統計 (速報値)

- 火災件数は220件 過去2番目に少ない!
- 火災による死者数は17人 過去10年で最多!!
このうち住宅火災による死者数は14人!!!

火災の早期発見・早期避難に有効な、住宅用火災警報器を必ず設置するんだぞう~!!!

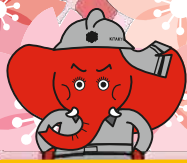


命を守る住宅用火災警報器

住宅用火災警報器は、
10年を目安に交換しましょう。

寝室、階段(2階以上に寝室がある場合)に設置が必要です。





その他気をつけたい火災

QRコードを
読み取って
みるぞう〜!

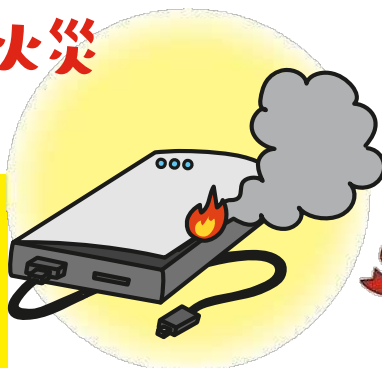


リチウムイオン電池による電気火災

モバイルバッテリーやスマートフォンなどに使われているリチウムイオン電池から出火した火災が、全国的に増えています。



- 破損・膨張などの異常がある場合は使用しない。
- 熱くなる場所に放置しない。
- 分別ルールに従って廃棄する。



こんろ火災

飲食店や一般住宅で多い火災です。特に、てんぷら油の入った鍋を火にかけてそのまま放置し、発生した火災が多くなっています。



- こんろを使うときは火のそばを絶対に離れない。
- 周りに燃えやすいものを置かない。
- 安全装置のついた機器を使用する。



りんや 林野火災

林野火災の原因は、たき火やたばこなど、人が火を使うことによるものがほとんどです。毎年春先になると、山に入る人が増えるため火災が多く発生しています。



- たき火の後には、完全に消火したことを確認する。
- 強風時や乾燥時には、たき火をしない。

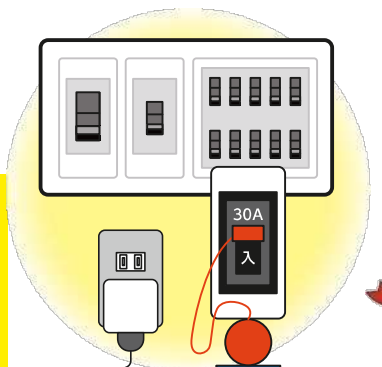


じしん 地震による火災

地震による火災の多くは電気が原因です。地震の揺れを感知して、自動的に電気を止める感震ブレーカーの設置が効果的です。



- 地震発生後に自宅から避難する際は、感震ブレーカーの設置の有無に関わらず、ブレーカーを切る。
- 電気を復旧する際は、電気配線や製品に異常がないことを確認する。



門司消防署 372-0119 若松消防署 752-0119 戸畑消防署 861-0119
 小倉北消防署 582-0119 八幡東消防署 663-0119 消防局予防課 582-3836
 小倉南消防署 951-0119 八幡西消防署 622-0119

北九州市消防局 北九州市市民防災会総連合会 北九州市消防協会 (一社)北九州市防災協会

このチラシに
消すぞう君は
何体いるかな?
答えは右の
QRコードから!

